

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポート⑪

私塾ネット 出前寺子屋 「漢検合格講座」

◆活動報告その⑪[2012年1月22日]

年明け2度目、数えて11度目のスクーリングは初めて降雨の日となった。これまで雨の日もなければ、ましてや雪は初体験だ。ここ数日来、北日本を中心に厳しい寒さが続いていた。前日、現地の木伏氏に電話で問い合わせしてみると、石巻は雪ですとのご返事。いくら過ごしやすい土地柄とはいえ、そこは東北、冬場に雪が降って当然のことである。ひるむことでもあるまい。

東北新幹線MAXやまびこ127号、上野発午前8時14分、仙台着10時18分。この列車が定番の足だ。二階席にゆったりと席を取り、同行者とわいわいと2時間を過ごすのが当日午前のウォーミングアップである。この日の同行者は、いつもの谷村志厚・和枝と鈴木正之理事長、それに中村直人先生。鈴木先生は2度目、中村先生は3度目とあってまことに心強い。

仙台で村山達也氏（東北大准教授）と合流し、これで本日のメインスタッフ5名が揃う。木伏先生とは現地で合流である。ここからレンタカーで石巻に直行する。今回は名ドライバー仲野十和田先生の運転で、快適な行程であったのに味をしめ、今回もこれに習うこととした。ただし運転手が還暦過ぎのロートルの谷村なのが心細いと、同行者は思っていたにちがいない…。幸いにも仙台市内は降雪の心配はないようだ。とはいえ前日までの雪はここに残っており足場は悪い。注意深い運転が求められる。

津波被災地渡波から石巻随一の景勝地万石浦へ

仙台を出て1時間15分、三陸自動車道石巻港出口から市内に入る。出前寺子屋開講まで2時間弱の余裕がある。そこで今回は、津波で大きな被害を受けた渡波（わたのは）地区を経由して万石浦（まんごくうら）を訪ねることとする。渡波は石巻から女川に至る街道沿いにある石巻湾に面した地域だ。その名の示すごとく、海とともに生計が成り立っている土地柄である。今回はその海から手荒い洗礼を受けたのである。

万石浦は石巻湾から狭い瀬戸でつながる内陸湾である。地図を見ればそのきわだった地形に思わず目が奪われる。この地形が瀬戸内育ちの小生にとっては、見逃すわけにはいかない景観なのである。12月に一度ここを訪れた経験から、同行者の皆さんにこの地を紹介したくて車を走らせた。万石浦は石巻地区の牡蠣養殖発祥の地で、先の大津波では狭隘な入口を持つ内陸湾の形状が幸いして、最小の被害でどまったという。まさに万石に値する天然の漁場であり生活の土地なのである。



2月の検定へ向けて真剣な取り組み

出前寺子屋会場の仮設開成団地ささえあい拠点センターに入ったのは午後1時10分前。テーブルと座卓を配置してあつという間に開校準備完了である。手慣れたメンバーはまことに有難い。持ち込んだ駅弁昼食もそこそこに、1時30分には最初の講習生をお迎えすることになった。2週に1度の勉強会を皆さん楽しみにして



小6で準2級を受検するM君、模擬テスト190点越えに、採点役の理事長も口をあぐり。

いただいているのであろう、いつも定刻前にはほぼ全員がそろそろ。さてこの日は2月4日の検定日直前のスクーリングである。出席は小中学生7名と一般16名、11歳から70歳まで老若男女が揃う、家庭学習のエキスがぎゅっと詰めこまれた教室である。まずは習熟度確認プリントと過去問題をお配りし、それぞれの

出前寺子屋 in 石巻「漢検合格講座」の仕組み

活動期間：2011年8月16日～2012年2月4日

- ①スクーリング（漢検学習・小中生徒には学習指導も同時実施）
8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、1月8日、22日、2月4日、2月19日（会場確定分・いずれも14:00～16:00）
- ②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所
- ③漢検受検
平成23年度第3回検定2012年2月4日
平成24年度第1回検定2012年6月2日
- ④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民
- ⑤受講者特典
・教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

ペースで学習の始まりとなった。11月検定の結果判明から準備期間はわずか二カ月余り、今回が2月4日検定前の最後のスクーリングとあって、皆さんは真剣そのもの。途中わずか10分程度の休憩をはさんで、午後3時45分まで学習会は黙々と進められた。そして、最後にいつもの課外授業「フラワー・アレンジメント」を楽しみ、11回目のスクーリングも無事終了となった。

石巻に助っ人登場、塾のお仲間が応援に

今回木伏先生のご紹介で、石巻市内で学習塾を主宰されている佐久間さんご夫妻がお手伝いにもえられた。前回1月8日に初めて来られ見学をされたのだが、今回はお手伝いをということで分厚い漢字辞典を手においでになられた。佐久間先生はご専門が書道とのこと。なるほど道理で漢字辞典がお似合いのはずだと合点した。そこで一般の部の漢検学習の指導をお願いすることになった。まことに頼もしい助っ人登場である。このようにして地元にも我々の活動をご理解いただける方が現れ、共感の輪が広がっていくことを喜び、今後の展開を期待したいものである。今回の出会いはこれまでの活動のなかでも、うれしい出来事のひとつとなった。



丁寧な説明で漢字の成り立ちについて指導する佐久間先生。

報告：谷村志厚（AIM学習セミナー）

23年度第2回漢字検定合格者17名の内訳

2級 - 2名、準2級 - 2名、3級 - 8名、4級 - 3名、6級 - 1名、7級 - 1名（小中学生7名、一般10名）

23年度第3回漢字検定受検者予定者26名内訳

2級 - 5名、準2級 - 10名、3級 - 4名、4級 - 1名、5級 - 5名、6級 - 2名、7級 - 1名（小中学生9名、一般17名）

ご支援ありがとうございます

当活動は支援参加者個人の負担と、ご援助をいただいた皆さんの浄財で運営しております。平成23年10月23日以降平成24年1月22日現在で、13の塾および学校さんから、総額274,000円の献金をいただきました。ありがとうございます。引き続き応援をお願いします。支援金の使途は、検定料、教材費の直接費用と市内移動交通費、通信費、スタッフ昼食費の間接費用にかぎり計上させていただきます。

主催：全日本私塾教育ネットワーク（略称・私塾ネット）